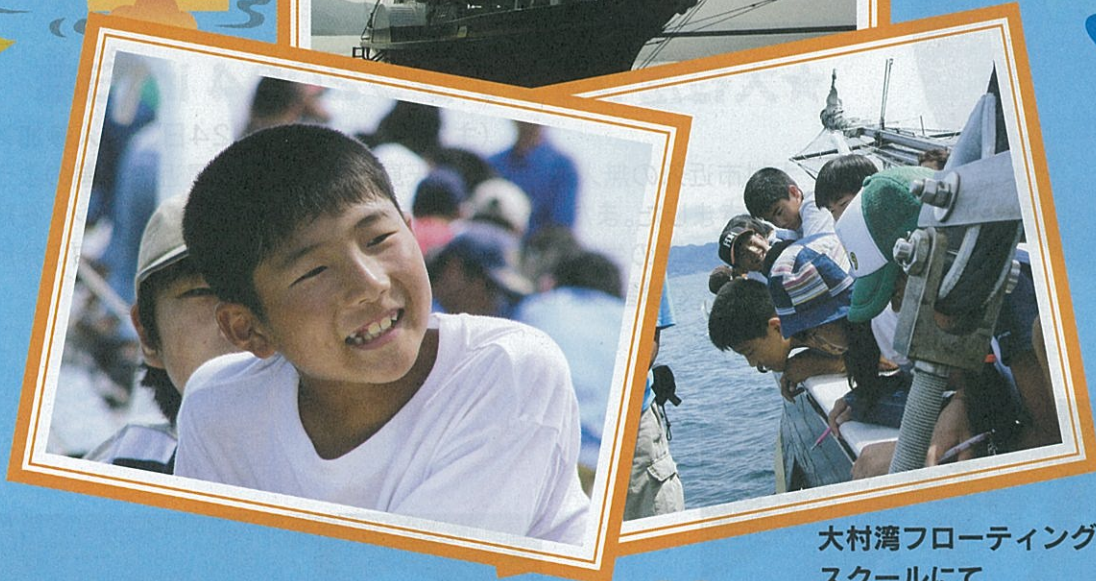


大村湾 かわら版



大村湾フローティング
スクールにて

- 大村湾で遊んだよ！学んだよ！…………… 2 3
- がんばってます！私たちの“まち”…………… 4 5
- 大村湾へのラブレター…………… 6 7
- 大村湾探偵団 活動レポート…………… 8 9
- WANTED！ 大村湾お勧めスポット情報…………… 9
- 家庭からはじめる環境美化術…………… 9
- 投稿 カブトガニの産卵のようすを観察しました！… 10
- 情報広場…………… 11
- 大村湾の希少動植物 ハマボウ…………… 12





双眼鏡でスナメリを探しましたが、
残念ながら見つけることができませんでした



大村湾清掃船(ウォーターズバイダーⅠ)、
海の上に浮いているゴミをきれいになります



大村湾の海底はヘドロで、変な臭いがしました

★大村湾フローティングスクール

(主催:長崎県) <8月3日、150人参加>

帆船「観光丸」に乗り、大村湾をクルージングしながら、水質や海底のようす、生き物について調べました。また、みんなで力を合わせ帆を張り、帆船ならではの体験をしました。航海中には双眼鏡でスナメリを探しましたが、残念ながら見ることはできませんでした。

★大村湾ウォッチング2004 in ^{うすしま}臼島

(主催:大村市) <7月24日、70人参加>

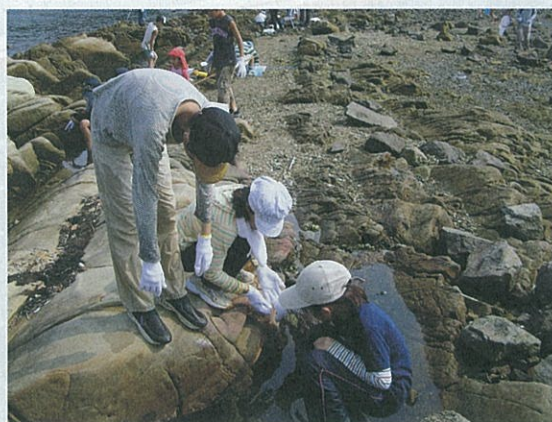
大村市近郊の無人島、臼島(弁天島)に船で渡り、最近の漁業のようすを聞きました。また、チーム対抗で生物の種類や数でポイントを競いながら海岸の生物調査をしたり、水質実験や環境クイズ・ゴミ分別クイズなどで学習しました。

湾で
学んだよ!

な場所でたくさんの
みなから”大村湾の
学習しました。



砂の中にもいろいろな生き物がいました



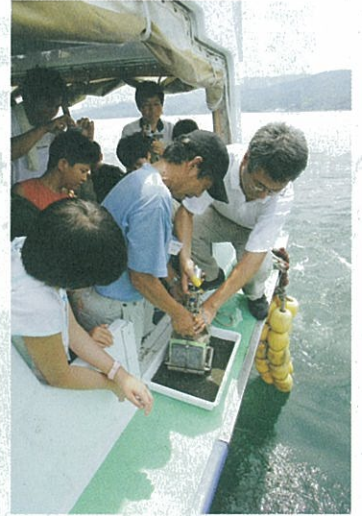
潮溜まりは生き物の宝庫、貝・カニ・エビに小さな魚も



薬を使って簡単な水質検査をしました



泥に鼻を近づけると変な臭いがしました



道具を使って形上湾の海底の泥を採りました

★ことのうみサマークルージング

(主催:琴海町) <8月8日、80人参加>

普段見慣れている町を海から眺め、あらためて琴海町の豊かな山林や美しいリアス式海岸など、自然のすばらしさを発見しました。また、町の伝統行事“ペーロン大会”を応援したり、ふれあいセンターで大村湾の水質やヘドロについても学習しました。

★^{ふたしま}二島清掃・ごみゼロ大作戦

(主催:長与北部地区コミュニティ運営協議会) <8月8日、80人参加>

大型ヨットに乗り、長与町の無人島、二島に渡りました。島では長与町のゴミや大村湾の水質などの話を聞いた後、島の周りに流れ着いたゴミをみんなで拾いました。包装用のプラスチックやペットボトルなど40kgのゴミが集まりました。

大村 遊んだよ!

夏休みには、いろいろな
子どもたちが“楽し
環境のことを



暑かったけど、みんなで流れ着いたゴミを拾いました



ゴミや大村湾の水質の話を聞きました

！私たちの“まち”

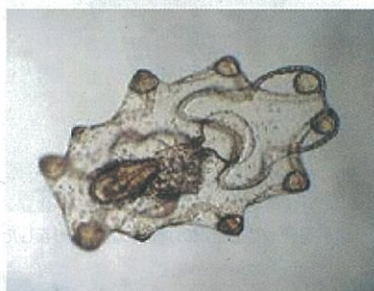
市や町で大村湾の環境保全や
いる主な事業を紹介します。

佐世保市

ナマコ大漁大作戦

佐世保市南部漁業協同組合では、平成5年より佐世保市水産センターと共同でナマコの資源回復に取り組んできました。水産センターで3月～4月頃、ナマコの卵をとり、ふ化させます。一番大事な赤ちゃんの時期(写真No.1)を人の手で育て、ふ化後約2週間したら、漁協の陸上水槽で力キ殻でできたゆりかご(写真No.2)に付着させます。さらに約一ヶ月後、沖合いにゆりかごごと移し(写真No.3)、5ヶ月間波に揺られながら元気に育ちます。やっと独り立ちできる大きさ(写真No.4)になった11月ごろに、ゆりかごから海底にある幼稚園(人工的に作った磯)に放流します。

16年度より大村湾全体でも、ナマコのための力キ殻ゆりかご大作戦が始まりました。



写真No.1: ぶ化後1週間海中を漂っています



写真No.2: カキ殻でできたゆりかご



写真No.3: 海の上のゆりかご(奥はハウステンボス)



写真No.4: 放流前のナマコ(大きさ2~3cmあります)



●担当者からの一言
ナマコを増やす担当になって、種苗生産や中間育成でたくさんのナマコが育つのを見るのは楽しみなんですけど、食べるほうは苦手です！しかし漁業者の方の大漁した時の笑顔が嬉しくて頑張っています。

「来なっせ100万人！」

グリーンクラフトリズム事業

波佐見町では、農業体験の「グリーンツーリズム」に陶芸体験の「クラフト」を加わえた、「グリーンクラフトリズム運動」を進めています。

波佐見町

ろくろ・絵付体験や石玉盆栽づくり、郷土料理「はさみ焼御膳」などをミックスした体験型観光は、訪れた人から「農業体験に加え、陶芸という芸術に触れて心が癒される。」と評判です。

推進母体は、「グリーンクラフトリズム研究会」。今年2月には陶磁器工場跡を改修し、活動拠点施設「文化の陶 四季舎」を整備しました。みなさんのお越しをお待ちしています。

問い合わせは、文化の陶 四季舎まで

TEL0956-27-6051





がんばっています

平成16年度に、大村湾流域の
活性化のために取り組まれて

時津町

自然体験、環境学習の場所にいかが 崎野自然公園

崎野自然公園は、波静かな大村湾に面した崎野半島の恵まれた自然景観を活用し、野外活動(研修)施設として平成6年度に整備されたキャンプ場です。

園内には、長さ60mの草スキー場、木製遊具やターザンロープなどが設置された遊技広場、半島西側を一周する延長約1kmの遊歩道(展望所2カ所)シャワー完備のバンガローなどがあります。

是非一度ご家族お友達小グループなどで、大村湾を眼下に一望しながら静かな自然の中で落ち着いたひと時を過ごしてみませんか。子どもたちの自然体験、環境学習にも最適です。

もしかすると展望所から “ズナメリ” を見ることができるとも
しれませんよ!



管理棟



キャンプ場からの景観



展望所から見た大村湾

崎野自然公園に関する問い合わせは
時津町建設部都市計画課

TEL 095-882-2211まで



レンコンやアスパラなど波佐見町の旬の味が
盛りだくさん、美味しいですよ



採取した山野草を、廃棄物を再利用した
石玉に植えてオリジナル盆栽をつくります



貴重な植物や取りすぎに注意しながら、
もみじや山ごけなどを採取します

大村湾へのラブレター

「大村湾環境保全・活性化行動計画」に賛同し、長崎新聞社は「with the スナメリ」キャンペーンを展開しています。その一環として、「大村湾がくれた感動体験」、「大村湾の好きなところ」、「大村湾での思い出」など大村湾への想いを“大村湾へのラブレター”と題して、エッセイを募集しました。

その優秀作品を紹介します。

最優秀賞

底の尽きることのない財布

長崎市 赤瀬 久美子さん

父の祈りは天に届いた。父が何週間も待ち望んでいた進水式を、大村湾は穏やかな表情で迎えさせてくれたのである。

大村市三浦田尻の沖あいに、海面を裂くように進む白い船体と、潮風にはためく大漁旗がはつきりと見えてきた。自宅前で大きく旋回しながら、その姿を見物人に披露して、ゆったりと自宅の船着場に接岸した。潮焼けした父の笑顔が誇らしげに輝いていた。

もう三十年以上も前のことだが、その日の光景を今でも鮮明に思い出すことができる。庭続きに畑があるように、庭続きに大村湾があつたから、畑では野菜を作り、至極当たり前に大村湾で漁をした。冬には年末年始の貴重な収入源「なまこ」が捕れた。大村湾は年中惜しげもなく、豊富な海の幸を分け与えてくれたのである。

その頃の大村湾は、我が家にとって底の尽きることのない財布でもあつた。

大村湾に生活の糧を求めていた父が他界し

て二十年、大村湾の海岸線は埋め立てにより随分変わった。埋立地に町ができて生活排水、土砂が流れ込み漁獲量が年々減っていると聞く。父が満面の笑みを浮かべて、船が傾くほど大漁したと話したこともあつたが、今となつては空想のような話だ。

「琴の湖」とも呼ばれる大村湾が、人間によつてこれ以上汚されることなく、その優雅な名前と共に永遠にあることを願っている。



優秀賞

「今は、明るく…」

佐世保市 長嶺 紀子さん

久しぶりですね。あれから、何年経つたのでしょうか。娘が今年二十三歳になったので、これ二十年以上も前の話になりますね。

お陰様で、毎日元気で暮らしていますからご安心下さいね。あの頃の私も、二十代で、今振り返ると恥ずかしいくらいに、ガチガチでゆとりの無い考え方をしていました。あれが若さというものなのでしょうね。

生後、発育・発達の悪い娘に不安を抱えながら、毎週訓練の為に通院していました。単なる発育遅延なのか？何が原因なのか？どうすれば正常に発達するのか？娘が「障害児」であるというのをまだ認めたくなくて、悩み苦しみながら、ハンドルを握りしめ涙ばかり流していました。こんなステキな大村湾の風景も当時の私の目には全く入らなかつたんですね。

車のラジオからはデビューしたての、チャェツカーズの「涙のリクエスト」ばかり流れていて、ずっとこの曲を好きになることが出来ませんでした。月日が経ち私も、それなりに成長し、今では「懐かしの曲」と思えるから不思議です。娘は相変わらずの重度障害者ですが、私は

100%、彼女の障害を受け入れることが出き「お陰様」の気持ちで明るく元気に過ごしています。今日は急に思い立って、娘とドライブに来ています。ハンドルさばきも軽やかに目の前の大村湾が夏色に輝いて眩しいくらいです。

優秀賞

夏目ー私の大村湾

西彼時津町 中村 久美さん

今から二十年以上も前のことなのに、つい昨日のように思い出される夏の光景がある。砂浜で釣りに興じる父親たち。魚を洗う母親の傍らで水遊びに夢中の妹やいとこたち。そして大人に混じって釣り竿を振り回している高校生の私。我が家と叔父一家が過ごす、真夏の「大村湾での一日だ。」

そこでの一番の楽しみといえば、ひと遊びした後の昼ごはんだった。釣りにてのキスの鉄板焼き。その頃まだ元気だった祖母が、海水浴と



なるときまつて持つてきていた大量のふかし芋。当時のぶどうの定番、古代紫の雲仙ぶどうに、黄緑色の皮が目にも鮮やかな甘酸っぱい梨。水着姿で潮風に吹かれながらほおばるおにぎりのおいしさが忘れられない。

昼過ぎになると潮が引き、美しい貝がらが混じる目の荒い砂浜と、海の向こうの小島が陸続きになる。大人たちがおつかなびつくり渡つて探検に行くのを、「もし帰りに潮が満ちて浜に戻れなくなつたらどうするのだから」と冷や冷やしながら眺め、ついに私は小島へと上陸することはできなかった。

毎年のように通つていたその海が、地図の上でどこにあるのか今だに私にはわからない。私たちはその海水浴行きのことをいつも「大村湾へ行く」と呼んでいた。長浦すいかのゴ口ゴ口転がる畑を通り過ぎ、藍色の水を湛えた美しい入江を眼下に埃っぽい坂道を下つた先にある小さな砂浜。夏の思い出がたくさん詰まつた私だけの「大村湾」が、そこにはある。



大村湾探偵団 活動レポート

今年の夏も「大村湾探偵団」は元気に活動しましたよ！
今
回はこの夏に行われた「大村湾探偵団」の活動の一部をお知ら
せします。

●第2回スナメリウォッチング可能性調査

「第2回スナメリウォッチング可能性調査」が7月26日に行
われました。さて、今回はスナメリを見ることができたでしょ
うか？

今回は大成功！ 3時間くらいの航海で、合計4つのスナメ
リの群を見ることができました。船からでもちゃんとスナメリ
を観察することができるんです。



イルカです…

上の写真は…スナメリ？
いいえ、違います。実はイ
ルカです。今回の調査では
イルカの群れも見ること
ができました。大村湾には
イルカもすんでいるんで
すね。
第3回調査(9月26日)
の結果はホームページを
ご覧下さい。

さらに詳しい情報はこちらをご覧ください！
長崎県自然保護課スナメリホームページ

(<http://www.pref.nagasaki.jp/sizen/4sunameri/index.html>)



●第3回スナメリ航空機調査

「第3回スナメリ航空機調査」が8月25日に行われました。今
日も空の上からたくさんさんのスナメリを見ることができました。
船からの調査と違って航空機からだとはつきりスナメリを
見ることが出来ます。上



いつも水面でゆったりとくつろいでいるように見えます

回に比べて見られたスナメリの数が少し少なかったようです。
第4回の調査は秋の予定です。



2頭の群が多かったです



頭の上の呼吸孔がわかりますか？



●大村湾生きもの(ハマボウ・カフトガニ)観察講習会

7月25日に佐世保市の早岐瀬戸で「大村湾生きもの(ハマボウ・カフトガニ)観察講習会」が行われました。当日はとても暑い日でしたが、みんなで干潟に出て、いろいろな生きものを探しました。今回は、「生きた化石」であるカフトガニを3匹見つけることができました。ハマボウもきれいでしたよ！



ヘンなエビ発見！ これはスナモグリという干潟に住むシャコの仲間です。



カフトガニの「ぬけ殻」発見！
カフトガニは脱皮しながら大きくなるんですね。

●スナメリはどこで見られるの？

スナメリは絶滅の恐れのある動物で生息数が少ないですが、なかなか簡単には見られません。しかし、これまでにみなさまから頂いた情報や調査結果をまとめると、「スナメリは大村湾のどこにもいる」と言えます。これまでのところ、特に発見の可能性が高そうなのは、大崎半島(川棚町)、四本堂公園(西彼町)、堂崎(長与町)、崎野ノ鼻(時津町/長与町)、箕島大橋(大村市)、パサージュ琴海(琴海町)などです。

県ではこれからもスナメリの見やすい場所を探していく予定です。みなさんも機会があったら、是非スナメリを探してみてくださいね！

WANTED! 大村湾お勧めスポット情報

ダレがなんと言おうと“私は”ここが好き!、秘密のお花畑、ここからの眺めは最高バイ!、なんて言うお勧めスポットの情報を大募集!

いただいた情報の中から、スタッフが現地に取材に伺います。採用された方にはプレゼントも!

お勧めスポットの情報は、長崎県環境政策課まで
〒850-8570 長崎県江戸町2-13 長崎県環境政策課
Tel:095-822-4721 E-mail:omurawan@pref.nagasaki.lg.jp

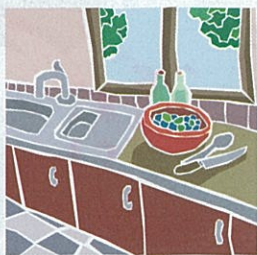
家庭からはじめる

環境美化術

大村湾を守っていくためには、私たちの身近なことから一つ一つ取り組んでいくことが大切です。

【台所では……】

- ・食べ物の残りを流さない
- ・流しの三角コーナーに、水切りのおみをつける
- ・油を流さない
- ・食べた後の食器を、新聞紙のような古紙などでふき取ってからあらい



【せんたくの時は……】

- ・せんざいを使いすぎない
- ・ゴミ取りネットをつける
- ・せんたく物をまとめてあらい、あらう回数をへらす



大村湾探偵団の読者の方から 「カブトガニ産卵」の観察レポートが報告されました。

●カブトガニの産卵の ようすを観察しました！

早岐瀬戸しほさめクラブ 大熊 豪さん

この夏、7月から8月にかけての大
潮に早岐瀬戸（佐世保市南部）の数ヶ
所でカブトガニのつがいの産卵行動が
確認されました。

「早岐瀬戸」は大村湾の入口に位置
する全長約10kmの細長い海峡です。
非常にせまいため、まるで川のように
しか見えませんが、外海と大村湾を結
ぶ2ヶ所しかない海峡の一つであり、
大村湾の浄化のための大切な役割を
もつれつきとした「海」なのです。

早岐地区にはカブトガニに対して「ハ
チガシヤ」という方言名があり、かつて
はそれだけ親しまれた渚の身近な生
き物だったのですが、近年はその存在
を知る人も少なくなっています。カブ
トガニは砂地に産卵し、ふ化した幼生
は干潟で育ち、やがて藻場、沖合いへ
と生息場所を変えながら一生を過ご
します。また、卵からふ化した後脱皮
を繰り返しながら10年以上の歳月を
かけて成体になるという長い生活史
をもつことも大きな特徴です。そうい
った点から渚の健全さを示す指標動

物の一つと考えられています。私個人
の意見ですが、潮の満ち引きに忠実に
ゆつくりと一生を過ごして、2億年以上
の生命の歴史を築くカブトガニの姿に
は、私たちの社会が失いつつあるお手
本のようなものが示されているとい
う気がします。

残念ながら大村湾、早岐瀬戸でのカ
ブトガニの観察報告は少なくなってお
り、その個体数の減少が心配されてい
ます。カブトガニやスナメリと共存で
きるような自然環境を守るというこ
とには、私たち自身も安心して暮らし
ていけるような社会の実現というこ
とを意味しているのではないでしょ
うか。



カブトガニ産卵

お昼に観察しているとき、大型レジャー船が大
村湾に向けてものすごいスピードで通過してい
きました。高波が発生し、波に洗われて産卵中
のつがいがひっくり返り、離れてしまうというアク
シデントがありました。狭い瀬戸です。通り抜ける
までの間、スピードを半減するなどの“思いやり”
がほしいと思いました。



情報広場

■大村湾鯛釣り大会(川棚町)

- 主催／川棚町観光協会
- とき／10月下旬
- ところ／大崎海水浴場防波堤
- 問い合わせ／川棚町観光協会
(0959・82・2661)

■ウィンタービレッジ 2004(大村市)

- 「伝統的な日本の冬を感じよう!」もちつき、しめ縄づくり、門松づくりをしたり、寒い中、湯たんぼで寝てみよう!
- 主催／とりかぶと自然学校
- とき／12月26日～28日(泊3日)
- ところ／とりかぶと自然学校
(大村市中岳町)
- 対象定員／小学生～中学生 30人
- 参加費／10,000円
- 連絡先／エコシステム・鯖江
(095・862・8020)



■県民の森イベント

緑豊かな「県民の森」では、自然環境・素材を利用して、次のイベントを開催します。

- とき、テーマ
- ・10月2日～3日
19時～翌12時(1泊2日)
「五感を使って県民の森を楽しもう」
キャンプを通して夜の自然体験と
ネイチャーゲームを楽しむ
- ・10月17日 10時～15時
「ドングリ教室」
森の中でいろいろなドングリを探し、
分類してみませんか?
・10月23日 13時～16時
「芋掘りと森の散策」
サツマイモ掘り、焼き芋体験と森の散策

■自然観察会(長与町)

秋の一日、健康づくりも兼ねて自然を観察しながら、のんびり歩きましょう。2～3kmのコースで、高齢者の方も安心です。

- 主催／長与町図書館友の会
- とき、コース
- 10月24日 時津町野崎自然公園
- 11月28日 長与町わらく団地周辺の山
- 1月16日 長与町山田橋と周辺
- 参加費／500円
- 連絡先／馬込
(0959・8333・3050)

11月20日 13時～16時

「木の美リース作り」
自然素材を使ってリース作り体験

12月4日 13時～16時
「ミニ門松作り」

自然素材を使ってミニ門松の創作

●参加費／無料

●問い合わせ先／長崎県民の森キャンプ場
管理棟
(0959・24・1660)



ミニ門松づくり



木の美リースづくり

■はさみ炎まつり(波佐見町)

- とき／11月14日(日) 9時～
- ところ／波佐見町やきもの公園
- 内容／青空農家レストラン
(器いっぱい満足な郷土料理で
楽しませよう)
- 陶器市
- 陶器市
陶器市
陶器式結婚20周年プレゼントなど
- 問い合わせ先／波佐見焼振興会
(0959・81・2214)

大村湾の希少動植物

【ハマボウ】

ハマボウはアオイ科の落葉低木で、日本では最も北に分布する野生のハイビスカスの仲間です。樹木でありながら、河口付近や内湾の岸などの塩湿地に群生し、満潮時には根元が半かん水（海水と淡水が混じった水）に浸かる立地に生育しています。このような特徴は、生態的には熱帯から亜熱帯に見られるマンングロープに相当し、温帯の植物ではきわめて珍しい特徴といえます。

ハマボウは江戸末期に長崎の出島に滞在していたシーボルトによって注目され、彼の著した『フロラ・ヤポニカ』に初めて記載されたものです。オランダのライデンの植物標本館に保管されているハマボウの標本の一つには、浦上の地名が記されており、当時は浦上川にも生育していたようです。

近年は河川の改修や護岸工事、埋め立てなどによって生育地が少なくなっており、各県のレッドデータブックでは絶滅危惧種としている県も少なくありません。長崎県は海岸線が複雑ですので、生育地は比較的多いのですが、それでも消滅した生育地も少なくなく、準絶滅危惧種となつていきます。

○ハマボウの特徴

高さは3〜5mで、大きな株になると幹の下部はほくくするようになります。葉はハ-

ト型で、淡緑色、縁には細かいきよ歯があり、葉裏は肉眼では見えないほどの細かい毛が密生し、白色を帯びています。6月下旬から7月下旬にかけて、枝先に直径6〜8cmのクリーム色で、中心が赤い美しい花を咲かせます。花は一日でしほみませんが、多くの花をつけますので、毎日咲き続けます。

○分布

関東地方南部以西の本州、四国、九州、奄美大島までと韓国済州島

○大村湾沿岸の分布

大村湾沿岸には生育地は多いのですが、群落は珍しく、諫早市久山や大村市郡川河口、佐世保市宮津町などに見られます。

(長崎大学教育学部 中西弘樹)



ハマボウの花



大村市郡川河口の群落

大村湾周辺にお住まいの
皆様の情報誌です。

スナメリ がわら版



平成16年10月発行
編集・発行/長崎県環境政策課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13
TEL095-822-4721 FAX095-820-4085

大村湾に関する環境情報を提供してください。

- | | | |
|------------|--------------------------------------|-------------------|
| ■長崎県環境政策課 | ◎電話 095-822-4721 | ◎FAX 095-820-4085 |
| | ◎E-mail omurawan@pref.nagasaki.lg.jp | |
| ■佐世保市環境保全課 | ◎電話 0956-26-1787 | ◎FAX 0956-34-4477 |
| ■諫早市環境保全課 | ◎電話 0957-22-1500 | ◎FAX 0957-22-9137 |
| ■大村市環境保全課 | ◎電話 0957-53-4111 | ◎FAX 0957-52-2902 |
| ■多良見町住民環境課 | ◎電話 0957-43-1111 | ◎FAX 0957-43-1159 |
| ■長与町環境対策課 | ◎電話 095-883-1111 | ◎FAX 095-883-2061 |
| ■時津町住民環境課 | ◎電話 095-882-2211 | ◎FAX 095-881-2764 |
| ■琴海町住民環境課 | ◎電話 095-885-2111 | ◎FAX 095-885-3937 |
| ■西彼町町民課 | ◎電話 0959-27-1111 | ◎FAX 0959-27-1153 |
| ■西海町町民課 | ◎電話 0959-32-1116 | ◎FAX 0959-32-0421 |
| ■東彼町町民課 | ◎電話 0957-46-1111 | ◎FAX 0957-46-0884 |
| ■川棚町保健衛生課 | ◎電話 0956-82-3131 | ◎FAX 0956-82-3134 |
| ■波佐見町住民課 | ◎電話 0956-85-2111 | ◎FAX 0956-85-5581 |